

【教育目標】

心身ともに健やかで、心豊かで、たくましく生きる子どもの育成

- げんきな子 ○やさしい子 ○がんばる子

意識する SDGs 開発目標	特色のある取り組み
 	<ul style="list-style-type: none"> ○前浜遊び <ul style="list-style-type: none"> ・前浜の outgoing、浜遊びをしながら海藻を拾ったり、石や流木で遊び、自分たちの遊び場として身近に感じる。 ・前浜のゴミ拾いから、身近な環境をきれいにする意識をもつ。 ○海のゴミ問題（しれとこダイビング企画） <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ拾い、漂流物から、今後自分たちは何をしていくべきかについて意識するきっかけとなる。 ○「NO レジ袋」推進（知床すみれエコプロジェクト） <ul style="list-style-type: none"> ・環境保全について、意識を高め自分たちがすぐ取り組めることから始め、家庭にも発信していく。 ○市場見学・海鮮工房見学 <ul style="list-style-type: none"> ・地元で獲れる魚やそこで働く人の仕事に興味をもつことでさらに羅臼の海に興味関心を抱く。
	<ul style="list-style-type: none"> ○クマ学習 <ul style="list-style-type: none"> ・身近に生息するクマについて、興味・関心をもち、生態や共存について考える。 ・身近な動植物に関心をもち、生命の尊さに気づき、やさしい気持ちで大切にしようという心を育てる。 <p style="margin-left: 20px;">→自然教育指導員、ビジターセンター見学</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ○「前浜のゴミ拾いから得るもの」 <ul style="list-style-type: none"> ・前浜のゴミの流れてきた経緯や問題に気づき、どうしたら身近な環境がきれいになるかを幼児なりに考えて、問題意識をもつ。 <p>外部関係機関との連携 （役場生活環境課の職員とのゴミ分別、保護者とゴミ拾い、地域との交流等）→いろいろな仕事があることや地域の人たちが協力し合っ て仕事を進めていることを知る。</p>

《ESD の活動によってどんな子どもを目指すか》

幼児の心の中にある地元の価値を高める

- ・身近にある自然、場所を大切にし、守ろうとする子ども
- ・身近な自然に親しみながら、地域の自然の良さを感じられる子ども
- ・郷土愛を深め、地域や人、もの、ことと関わり合える子ども



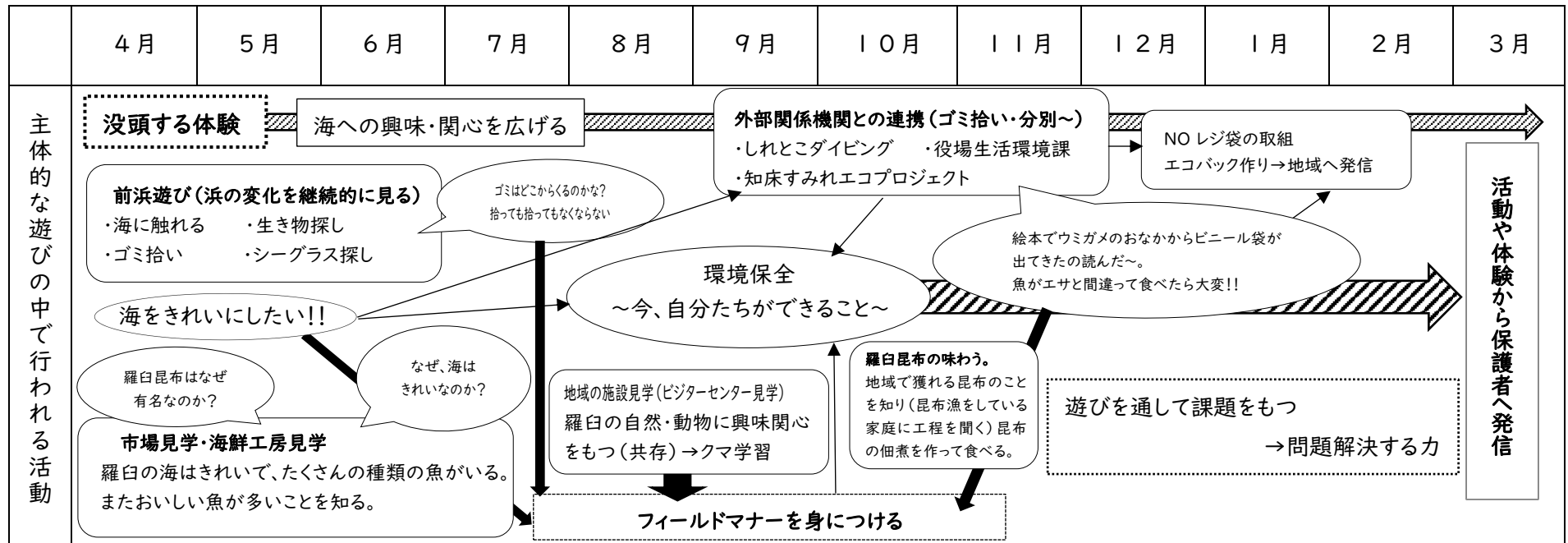
【実践のねらい】

- ・身近にある環境に親しみながら、自然や自分たちの遊び場である前浜をきれいにする過程で、この漂流物（ゴミ）はどこからくるのかという好奇心や探求心をもって、環境に関わろうとする。
- ・地域や人、もの、こととつながり、地域の産業や自然について学び、地元の海で獲れる羅臼昆布へ興味関心をもち、地域への愛情を深める。

◇実施期間 5月～2月（教育時間内）

◇主な内容

- (1) 前浜に出向き、浜遊びをしながら生き物探しや海藻を拾ったり、石や流木で遊び、自分たちの遊び場として大切な場として愛情をもつ。
- (2) 前浜に流れてきたゴミの経緯に興味や関心をもち、海や前浜がどのようにしたらきれいになるのかを考え、問題意識をもつ。
- (3) 羅臼昆布から地域の産業に興味をもち、海と昆布の関係性や昆布が製品になるまでの過程に興味をもつ。



令和3年度 知床学（海洋教育）「地域の海を守るために私たちができること」
～きれいな海や資源を守るために～

羅臼町立春松幼稚園

【実践のねらい】

身近にある自然に親しみながら、自然や自分たちの遊び場である前浜をきれいにする過程で、この漂流物（ゴミ）はどこからくるのかという好奇心や探求心をもって、環境と関わろうとする。

前浜のゴミ拾い

拾っても拾ってもなくなる・・・
どうしてだろう!?

(1) 健康な心と体

どこからくるのかな!?

グループ分けをするよ

(3) 協同性

ペットボトルがたくさんあるね

全部で40kgあったよ

(2) 自立心

ダイバーさんの海のお話し会

(4) 道徳性・規範意識の芽生え

プラスチックは時間が経つと海底に沈むだけで、なくなることはないんだよ。ビニール袋はクラゲに似ているから、魚やカメ、海鳥が間違えて食べてしまうんだよ!!

海の中はどうなっているのかな?

(6) 思考力の芽生え

羅臼側の海には「家庭から出たゴミ」「漁具」が多いんです。

(7) 自然との関わり・生命尊重

絵本で読んだことがある!!

年少さんや年中さんにもお知らせしなきゃね・・・

ポスター作り

(8) 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

エコバックのデザイン作り

同じ取り組み

(10) 豊かな感性と表現

エコバックの取組について

(5) 社会生活との関わり

取組から・・・

- ・ゴミに問題意識をもちながら、なぜ拾っても拾ってもなくなるのか? ゴミはどこからくるのか? と疑問を抱いた時に地域の方と連携をすることで、いろいろな情報を知ることができた。また、普段から園での取組をブログやおたよりで発信していることもあり、地域の方も快く受け入れてくれた。
- ・ダイバーさんのお話から、目に見えるゴミだけではなく、海の中のゴミにも注目したことで、プラスチックゴミの削減を意識するきっかけとなった。
- ・園で取り組んでいる「NOレジ袋」の推進は、知床すみれエコプロジェクトの方々の活動と類似しており、エコバックを作ろう!! という気持ちが高まった。
- ・今後も園の取組を発信しながら、地域の方と連携をしながら幼児の活動に生かしていきたい。

令和3年度 知床学（海洋教育）「地域の海を守るために私たちができること」
～きれいな海や資源を守るために～

羅臼町立春松幼稚園

【実践のねらい】

地域や人、もの、こととのつながり、地域の産業や自然について学び、地元の海で獲れる羅臼昆布へ興味関心をもち、地域への愛情を深める。



1年を通して裏山を知り尽くす



地域（地元）に目を向ける



羅臼はホッケも有名なんだよ！すり身にしてかまぼこにするからねー

ビジターセンター見学



クマ学習～クマについて学ぶ



クマに会ったら「あさはゆき」だよ



郷土料理「ホッケのかまぼこ作り」



羅臼昆布からはおいしいダシがとれるんだよ。ゆっくりゆっくり水でコトコト30分煮るんだよ



海のいろいろな「かお」を知ろう！！



羅臼昆布を知ろう！！



冬の海でも遊んじようよ。アッ！流水だ！



このダシで、おみそしるを作ってみてね～

裏山や前浜に通い、四季折々の自然の豊かさを体感することができた。今年度も新型コロナウイルス感染症のため、園外活動は中止となりましたが、地域の自然や文化について学び、地域の産業や文化を体験し、地域への愛情を深めることができました。